



2009年8月13日

横浜市長 中田 宏様
横浜市教育委員長 今田忠彦様

日本YWCA
会長 石井摩耶子
総幹事 川端 国世

自由社版歴史教科書採択に抗議し

採択の撤回・採択手続きのやり直しを求めます

横浜市教育委員会が、8月4日、中学校歴史教科書として「新しい歴史教科書をつくる会」編集の自由社版歴史教科書を市内18採択地区中8地区(港南・旭・金沢・港北・緑・青葉・都築・瀬谷、145校中71校)に採択することを決定したことに対して、日本YWCAは抗議するとともに、採択の撤回・やり直しを求めます。

自由社版歴史教科書は、日本の歴史を神話も記述し、天皇中心に描いており、また、日本の植民地支配や侵略戦争を正当化・美化し、日本が起こした戦争の加害や被害についてほとんど触れていません。こうした教科書で歴史を学ぶことは、子どもたちがアジアを蔑視する歴史観を身につけることになりかねず、アジアの人々との対話を不可能にし、日本の国際的孤立を深め、子どもたちの将来を危うくすることになります。

日本YWCAは、これまで国際プログラムを通して、韓国・中国などアジアのYWCAと交流を深め、歴史の事実を知り、相手の痛みを学び、想像し、共有することが大切であることを繰り返し確認してきました。私たちは、恥ずべき歴史に対しても、歴史の事実を学び、同じ轍を踏まないために、過去の歴史に真摯に向き合い、次の世代に伝えることが、未来に責任を持つことであると考えます。だからこそ、未来を担う子どもたちが歴史を学ぶために使う教科書の記述を歪曲してはならないのです。

国際都市横浜の子どもたちが、世界の人々と平和な世界を築く土台となる歴史を学ぶ機会を閉ざす、歴史を歪曲した自由社版歴史教科書採択に抗議するとともに、採択の撤回・やり直しを求めます。

以上